



No.36 2017.6.20 発行
 群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>

校長に加藤氏着任



群馬県立高崎高等学校
 校長 加藤 聡 (78期)

思いつくままに

このたび、佐藤功前校長の後任として本校校長に就任致しました加藤聡(さとし)と申します。本校OB(78期)で、英語科の教諭としても平成5(1993)年度から11(1999)年度まで7年間勤務しました。そして、教諭時代は、柔道部、卓球部、野球部の副顧問をさせていただきました。

以下文字通り思いつくままに書かせていただきますので、内容が多岐にわたることをお許しください。

さて、『翠巒体育』ということで、自分の高校時代のことから入っていきます。私は、高校時代部活動には入っていませんでした。実は、高校時代を振り返って最も後悔しているのはこのことなのです。

高卒卒業後様々な経験をしてきましたが、まずは高校時代の部活動でいろいろな体験をしていたら、また異なった人生の展開があったかもしれないと考えている次第です。

私は、高崎市立中央小学校から現在の高松中学の前身である第二中学に進



「アシックスカップ2016 第3回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会」へ群馬県代表として全国大会出場を果たした高崎ラグビー部。2016年7月、予選プール、1勝1敗で善戦し、OB達は歓喜した。

みました。中学時代には、卓球部に所属していました。当時は、AチームとBチームの2チームがあり、かろうじてBチームに入っていました。生来運動が得意ではない上に、中学時代に大いに努力を重ねた記憶もありません。したがって、大した練習もしなかったのもうまくなるはずもありませんでした。高々に入部して部活動に入るという選択肢も当然あったわけですが、当時はそうは考えませんでした。今考えると、その理由は自分が弱かったからということに尽きます。

突然ですが、この原稿を書きながら、高校時代の修学旅行の宿舎の夜のことを思い出しました。本会の前会長の高橋浩生君が本領を発揮して仕切ってくれて、同室の大人数の生徒たちで大いに盛り上がったものでした。おかげさまで、仲間とわいわいする楽しさを味わえました(私は遠巻きに見ているだけでしたが)。

私は高々での教諭を経て、県教委の学校人事課に勤務しました。

人事作業がたけなわの頃は、毎晩深夜まで働かざるをえず、その期間は家族と顔を合わせる時間よりも、同僚と働く時間の方が圧倒的に多かったのが奇妙な感じがしたものです。

一緒に働いている頃はそうでもなかったのですが、今振り返ると、当時の同僚とは何とも言えない結びつきや仲間意識を感じています。

さて、私は大学に進学してから、体育会系のサークル(競技ダンス部)に入りました。「大学時代はダンスをしていました。」と言うと、「社交ダンスですか。」と言われることが多いのですが、実はダンスは相当

運動量が激しいのです。

競技ダンスというからには、当然大会があるのですが、誇れるような成績をあげることができませんでした。その理由は、これまた努力不足の一語に尽きます。

実は、今年の春に、当時の競技ダンス部の後輩と約20年ぶりに会いました。再会を喜び合って5分もしないうちに、共に練習に励んでいた雰囲気やよみがえり、当時の話で大いに盛り上がりました。

そして、約20年の時を経ても、「皆変わっていないな。」と感じた次第です。

部活動を通じて得られるものはいろいろあるでしょうが、何と言ってもその筆頭は友人(仲間)だと思えます。

友人と言っても、いや友人だからこそ、顔も見たくない時があったり、口論をする時もあるのでしょうか、利害関係のない高校時代の交友を通じて得られるものは、何ものにも代え難いと思えます。

各運動部の交友の輪がひとつになり、高崎高校という共通点で結びついたものが、翠巒体育会であると私は思っています。学校としても、あらゆる機会を通じ、部活動、特に運動部活動を大いに奨励しています。

全職員の念頭にあることは、生徒たちが「高崎高校へ来てよかった。」また、保護者の方々が「高崎高校へ行かせてよかった。」と心底から思ってもらえる学校にしたいということに尽きます。

会員の皆様には、これまでと同様に、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。本原稿を終わらせていただきます。

今後とも、よろしく申し上げます。

特別寄稿

ラグビーW杯2019

財団法人日本ラグビーフットボール協会 副会長/専務理事
ラグビーワールドカップ2015/2019日本招致委員会 委員長

ラグビー部OB 真下 昇 (56期)



2015年9月22日 ラグビーの日本代表チームは世界中を驚かせた。第八回ラグビーW杯英国大会ブライトンでの強豪南アチームに34対32で勝利したのである。「日本チームはサムライ魂で善戦するだろう、小さい身体でいつも最後まで諦めずに力を尽くして戦うという日本大好きだよ、だから今日は応援するよ」という声はあちこちでかけられていたが日本が勝つなどとは競技場の誰も思っていなかった。私は勝利の瞬間からしばらく歓喜の渦の中で茫然としていた。自分のラグビー人生六十有余年にこんなことが起きたのだ。最後のトライは偶然などではなく日本のラグビーが長いこと目指してきたプレーの成功だったことが感動をより確かなものにし、心に沁みだ。ロンドン市内に戻る列車の中でも大勢の南アの応援ジャージ姿の人達からコングラッチュレーション、「感動したよ」と祝福された。

私は高56期でラグビー部に所属、卒業後、東京教育大学に進んだ後、英国系商社ドッドウェルに入社した。

会社では仕事の実務と英会話を教わる日々だったが、社内はファーストネームで呼び合うフランクさで仕事のノルマさえこなしていれば時間の使い方は自由であった。ここで外国人社員と互いの信頼関係を構築していった経験は後々大いに役立った。勤めの傍らラグビー選手としてのプレーもし、32歳で選手生活を引退してレフリーの道に進んだ。

私はレフリーのために必要な体力維持のトレーニングも欠かすことなく、また、審判の依頼が来ればどこへでも出かけて笛を吹いた。ずっとサラリーマンとラグビーの2足のワラジをはいてい

たのである。数年後、日本協会の主要ゲームはもちろん国際試合の審判を務めるまでになった。その結果、トップレフリーとして多くの選手、チーム関係者と知り合いました、外国のレフリーとの交流も多くなり国内外へも試合だけでなくレフリーの指導にも招かれた。

93年に社会人として育ててもらったドッドウェルを辞し、前々から誘いを受けていた(株)クボタに転職、同時に二十有余年務めたレフリーを引退した。54歳になっていた。よくラグビー精神はOne For All All For Oneといわれる。また、試合中は敵、味方だが試合が終われば勝負に関係なく相手を尊重し、認め合い友情の輪を育てていく「ノーサイド」の精神がある。この素晴らしいラグビーを多くの人々、特に子供たちに関心を持ってもらいたい。この考えが常に私の胸の内にあり全国に、全世界の人たちにラグビーを知ってもらいたいと思うようになっていった。

2009年7月28日に、第9回ラグビーW杯はアジアでは初めて日本で開催するということが決まった。

1995年、世界ラグビー機構(IRB)が長い間、守り続けてきたアマチュア宣言を廃してプロ化を表明した。以来、各国ともに急速なプロ化が進んだが日本はこの急変への対応が後手に回った。そして国際試合での大敗が続き、それまで正月には国立競技場を満員にしていた国内のラグビーの気もがた落ちとなった。日本のラグビーの危機であった。

2000年に協会は日本ラグビーの再生プロジェクトとして4つの柱、「組織、マーケティング、代表強化、大会運営」

の見直しを図ることにした。私も大会運営理事として一大決断の元、世界に通用する日本代表選手の要を育てるためのジャパントップリーグを立ち上げたのである。

2002年会計役、その後専務理事になった。

2003年正月、トップリーグ立ち上げの発表をした折、いずれラグビーW杯を日本に招致すると話した。

その6月にIRBが2002年のサッカーW杯日韓共同開催の成功を評価したことが追い風となり、夢はにわかに現実味を帯び、招致員会を結成し森喜朗元総理を会長に、私は委員長になって招致活動を開始した。

2011年W杯招致活動は、極東の小国のことなど全くわからず、自分たちがラグビー宗主国(イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランド、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ)であると思っている理事たちに、アジアで初めてのW杯の開催の意義を説いて回ることから始めた。ラグビーをグローバル化すべしとの声にも、それらの国の中には我々だけのラグビーだとかたくな態度の国もあり説得は困難を極め、その保守的な壁は厚かった。何しろ彼らはラグビー家族として長い時間を重ねがっちりした絆を作り上げていた。

それでも少しずつレフリー時代からの友人たちが応援してくれるようになり日本開催に関心を示すようにはなったが、いかんせん時間が足りずニュージーランドに僅差で敗れた。

投票後支持してくれた理事たちからNobby(私のニックネーム)nextと励ま

表野登記測量事務所

土地・建物の登記・測量/開発申請/相続/各種許可申請
土地家屋調査士 表野 真拓 (ラグビー部・83期)
高崎市小八木町1416番地1
TEL.027-370-1286 FAX.027-370-1287
E-mail hyono.m@aria.ocn.ne.jp



衣料一筋一世紀

本店 HONTAKA

社長 高橋哲人 ラグビー部 (89期)
(株)タカハシ本店 群馬県高崎市鞆町4-9
☎ 027-323-4821 FAX 027-326-3533
ホームページ <http://www.hontaka.biz/>
本タカブログ http://blogs.yahoo.co.jp/hontaka_web

個別指導 ^{アックス} AXIS 貝沢校

責任者 綿貫 雄高 (ラグビー部・88期)
高崎市東貝沢町3-34-1 深町ビル2F
TEL.027-370-5548 FAX.027-370-5584
URL <http://ameblo.jp/axis-kaizawa>

されこの手ごたえを頼りに次回大会の開催に手を挙げた。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」の虎穴に入る方法を考えていた時に運よくアジア協会選出の理事としてIRBのボードメンバーになることができた。

伝統国理事諸侯と対等の地位に就いた私はドッドウェル時代に鍛えられた外国人との付き合い方を武器に欧州、南半球の国々を積極的に飛び回った。今や世界の主要な競技はグローバル

化している、それなのにラグビーはアジアの意見を無視し伝統国のみでW杯を開催してきているとは意識が遅れていないか?とアジア初の日本でのW杯開催の意義についてひざ詰めで説得して歩いた。その結果、15年イングランド、19年日本開催案をIRB理事会で承認させることに成功した。そこまでこぎつけることができたのも高高ラグビー部で岡田先生に鍛えられた観音山の石段トレーニングでついた体力と「一人はみ

んなのためにみんなは一人のために」、「ノーサイドの精神」の教えが身体の芯にしみこんでいたからである。

すでに組織委員会は12の開催都市も決め、先日、組み合わせも決まり準備も急ピッチで進んでいる。今は組織委員会役員として未来を担うアジア諸国と日本の青少年の夢を紡ぐラグビーW杯のレガシーが後々競技の発展の定礎となるよう見守っている。

青春の絆



バスケットボール部

KIZUNA 榊原 一好(79期)

やっぱり努力は報われる

去年は後輩たちが久しぶりにインターハイ出場を決めとても感動した。出場を決めた瞬間は自分たちの期が決勝で敗退し出場を逃したこともあり感慨深いものがあつた。OB会長を託されてから8年目、OB会としての大仕事に携わることができありがたいことでした。インターハイ出場にOB皆が喜んでくれたと思う。現役・先生・父兄の皆さん、改めておめでとうございます。また、インターハイ出場に際し、この場をお借りし改めて支援を頂いた皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。今後の現役の健闘に期待したい。

話は変わるが、自分がバスケットを始めたのは中学時代に近所の先輩に勧誘されて入部した所から始まる。自分は小学生時代に東京から群馬の藤岡市

に転校してきた。中学生になるといきなり志望高校の提出を求められた。何もわからなかったので周りの人に群馬はどここの高校が良いのか尋ねた。上から順に高崎高校、中央高校、富岡高校と教えてもらった。ならば第一志望は高崎高校、第2志望は中央高校と書いて提出した。

中学3年の進路相談の時に中央高校を進められたが高崎高校を受験した。初志貫徹と言う訳ではないが、自分では絶対合格すると信じていた。高校の入学式の時に中学時代の他校のバスケットの知り合いに、何でここに居ると言われたことを今でも覚えている。確かに中学時代まじめな方ではなかったが、それなりに努力はしていた。当人は今も大事な友人である。今思うと何かと結構努力をしていたように思う。

高校生活はあっという間に過ぎてしまった感がある。インターハイに出場できなかった事は今でも悔やまれるが、苦楽を共にした同期13人、皆とバスケットができた事は良い思い出である。考えてみればスタメン5人の内、センターの2人は中学まで野球部出身者とサッカー部出身者であった。良く決勝まで行けたものである。やっぱり努力は報われる。改めて後輩諸子の今後の活躍に期待したい。



KIZUNA 小澤 朋克(99期)
遠征を支えてくれた「ポカリ号」

私が在学していた当時、バスケットボール部には青と白に塗られたレトロなバスがあつた。「ポカリ号」と呼ばれ、一度目にすれば忘れることはないだろう。とにかく目立つこのバスに乗り、多くの遠征を重ねた。クーラーなどはなく、夏場や雨天時の移動はかなり過酷だったことを思い出す。新潟遠征の帰りの道ではタイヤがバーストし、数時間立ち往生したこともあつた。山梨県で行われた冬の関東新人大会では、雪の坂道でスリップしたことなども今では良い思い出である。

このバスに乗り、多くの強豪チームと練習試合ができたことが、チームの強化につながったことは間違いない。毎月のように合同合宿を行う県外チームも存在し、他校の選手同士があだ名で呼び合うことも当たり前のことであつた。当時指導をしてくれ、バスを運転してくれた立見先生、水上先生、町田先生にはとても感謝している。私自身も高校の教員となり、バスケットボール部の顧問をするようになって先生方の大変さを、身をもって感じている。こんな体制が整った環境でバスケットボールができたおかげで、3年間は関東大会出場を逃したことはなく、3年生ではインターハイへの切符を勝ち取ることができた。

インターハイ出場を記念し、OB会の

<p>情報システム株式会社 榊原 一好 (バスケットボール部 79期) 本社 〒370-0032 群馬県高崎市宿大類町1461番地1 TEL.027-350-1277(代) FAX.350-1278</p>	<p>株式会社 塚本工務店 塚本 浩史 (バスケットボール部 99期) 本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1 TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300</p>	<p>株式会社 大根根 富澤 慎一・誠佑 (バスケットボール部 99期) 〒370-3334 群馬県高崎市本郷町150-1 TEL:027-343-6007 FAX:027-344-1588</p>
--	---	--



1999年のインターハイ出場を機に、購入していただいた新しいバスの前で集合写真

方の寄付で、バスの買い替えをしていただくことができた。クーラーがついており、快適に一関まで行くことができた。残念ながら「ポカリ号」とはお別れになってしまったが、我々OBは今でも鮮明に覚えている。

インターハイでは、一回戦敗退だったが、進学校がインターハイに出場ということで「月刊バスケットボール」の取材を受けて、新しいバスも紹介してもらうことができた。

ここ数年県内は強豪私立高校が増え、公立高校が上位に上がることが厳しくなっている現状である。しかし、昨年度には後輩たちが関東大会3位やインターハイ出場を果たしてくれた。久しぶりのインターハイ出場に、我々OBも大いに盛り上がった。これからも強い高崎高校であり続けて欲しいと願う。



KIZUNA 毛呂 駿臣(116期)

文武両道を実践した3年間

自分が1年生として高崎高校に入学したときは、ただただ日々の練習に圧倒されていたことを大学生になった今でも鮮明におぼえています。スピード、パワー、技術、どれをとっても中学校とは比べ物になりません。必死に、がむしゃ

らに練習して、憧れの先輩たちについていこうと思うと同時に、追いぬいてやろうとも思っていました。一緒に入学した1年生の仲間と全国にいこうと言っていたのもその時期からだったと思います。インターハイに実際出ることができて、口に出して目標をいうことは大事なことだなと振り返ってみると思っています。

部活動も勉強と同じく大切だと言われますが、まさしくその通りだと考えています。先輩や後輩、同学年との絆や、練習や試合、合宿での思い出など部活

動だからこそ得ることのできるものが多くありました。高崎高校での校内合宿で学校の洗濯機が壊れ、コインランドリーに夜中の2時までいたことが今では微笑ましい思い出です。当時は全く笑いごとではありませんでしたが、そういったことを通じて信頼関係ができていったと思います。また、様々なことに気を配ることができたり、物事に前向きに積極的に取り組むことができたりと人としても大きく成長したと実感しています。

高崎高校は文武両道を掲げる進学校であり、生徒一人一人が高い意識をもって部活動だけでなく、勉強もすることが素晴らしいところだと思います。バスケットボール部では、合宿先でも試合から帰ってくると、眠い目をこすりながら、一堂に会して勉強する光景がよく見られました。部活動をするからこそ、だらだら過ごすのではなく、限られた時間を有効に活用する姿勢が身についたのだと思います。

最後になりますが、大切な仲間や、顧問の先生方、OB会の皆さま、応援して下さった方々の支えでバスケットボール部での充実した3年間を過ごすことができました。高高でよかった、改めてそう思いました。



2016年のインターハイ開会式後の集合写真

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、
趣味のお集まり等に...

刺身 魚 仲

取締役社長 羽鳥修司(卓球部・63期)
高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428代
FAX 027-326-7070

株式会社
システムハウス

代表取締役 堤 康高(卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルII 4-B
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480
URL <http://www.sysh.jp/>

株式会社
大陸不動産

代表取締役 山口正敏

(卓球部・58期)
高崎市宮元町108番地 TEL.027-322-4031

28事業報告

28年4月4日

●第1回役員会議

4月12日

●第1回編集会議

5月25日

●関東大会出場の部へ祝金

柔道部、相撲部、陸上部、山岳部、バレーボール部
弓道部、ラグビー部(全国大会)

6月2日

●第2回編集会議

6月8日

●監査役会

6月14日

●第2回役員会議

6月20日

●第42回定期総会・懇親会

●翠巒体育第35号発行

●インターハイ出場の部へ祝金

水泳部、陸上部、バスケットボール部

8月20日

●ゴルフ大会役員会議

9月4日

●第26回ゴルフ大会

11月8日

●第3回役員会議

11月17日

●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰

12月1日

●活性化忘年会

29年3月1日

●高崎高校卒業式



●第42回定期総会・懇親会

第42回定期総会・懇親会

ソフトテニス部/石田 和久(75期)

翠巒体育会の第42回定期総会及び懇親会が、平成28年6月20日(月)高崎ビューホテルにて開催されました。

大田部功会長より、就任1年目なので安全運転で会の運営を行ってきたが、これからはいろいろなことにチャレンジしていきたいとの挨拶、平成28年度高校総体男子総合1位の報告の後、平成27年度事業報告、会計報告、監査報告及び平成28年度事業案、予算案が滞りなく承認されました。

議事の終了後、報告事項として第24回同窓会ゴルフコンペ(幹事80期)と第115回高中・高高同窓会(幹事86期)の日程紹介及び参加の呼びかけが行われ、最後に国峯善次郎顧問より、翠巒体育会はもっと暴れようとお言葉をいただき定期総会は閉会となりました。

引き続き行われた懇親会は、大田部功会長、佐藤功校長、串田紀之同窓会会長、富岡賢治高崎市長から挨拶をいただいた後、岩田武雄顧問の乾杯の発声により和やかに始まりました。会の中では、各運動部の顧問の先生より高校総体の結果・活動報告と、OBより各部OB会の近況報告があり、ホームページ掲載用の写真撮影も行われ大いに盛り上がりました。

最後に応援部OBのリードにより全員で翠巒を合唱し、清野哲雄副会長による挨拶にて無事終了いたしました。

第7回活性化忘年会

テニス部/北村 真行(85期)

平成28年翠巒体育会活性化忘年会は12月1日(木)、ホワイトイン高崎にて開催されました。翠巒体育会一年の活動の慰労と、会員の裾野を広げるとい趣旨で開催されるこの忘年会も7

回目を迎え、会を重ねる度に若い参加者が増え、開催当初とはまた違った活況を見せています。各部とも可能な限り次年の新年総会幹事期以下の若手に参加頂くという趣旨が定着し、参加53名中35名が86期以下という構成となり、中には現役大学生も見受けられる程の若くフレッシュな会となりつつある感じです。

太田部会長の挨拶に始まり、清水正太郎同窓会副会長には乾杯の音頭を、また86期佐藤雄一同窓会幹事、富岡市長の挨拶などが挟まりながら賑やかな歓談となりました。

OB会の発足を準備中である軟式野球部106期宇野慎一郎君の初参加や、弓道部OB会が次年より翠巒体育会への加入を目指していることなどの報告があり、翠巒体育会のさらなる発展が予感させられるなか、盛況のうちの中締めとなりました。

横の繋がりはもとより縦の繋がりにも強みを見せる翠巒体育会の発展

ててい未来のリーダーたち 四谷大塚 NET 2 CEBU流学

適塾

www.tekijuku.info 塾長 櫻井 健一(応援部 87期)



GSD ホームページ、WEBシステムの作成はお任せください。

株式会社ジー・エス・ディー

専務取締役 佐藤 英樹 (応援部 92期)

〒370-0058 高崎市九蔵町 25-1 WESTIN I 503号

TEL:027-323-3880 FAX:027-310-2667

URL: http://www.g-s-d.net mail: h_sato@g-s-d.net

RASE ライズ総合保険

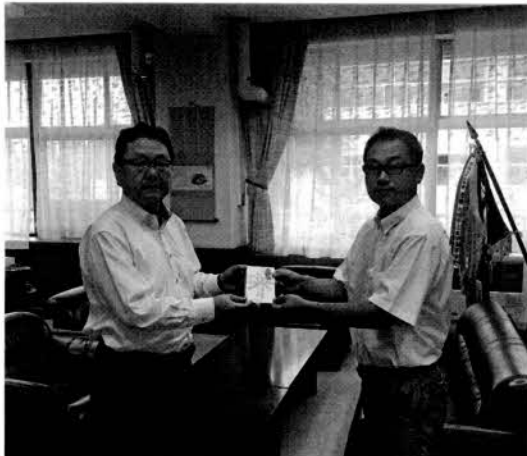
MS&AD あいおいニッセイ同和損保 総務代理店

TOUGH SHOP ぐんま中央

代表取締役 富田 和弘 (応援部 85期)

武山 雄海 (バレー部 102期)

〒370-0044 高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364



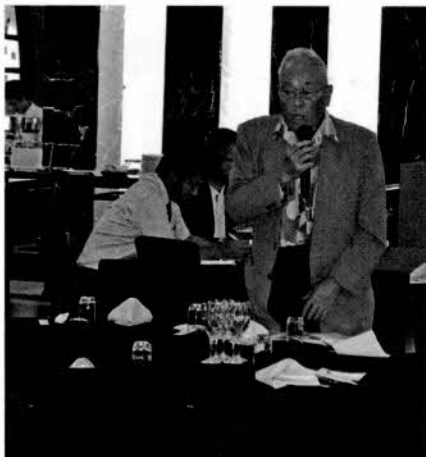
●関東・全国大会出場の部へ祝金贈呈



●第42回定期総会



●インターハイ出場の部へ祝金贈呈(42回定期総会)



●第42回定期総会



●懇親会



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰

のためにも、今年の活性化忘年会へもより多くのOBの方が参加されるよう祈念し、報告とさせていただきます。

第26回ゴルフ大会 団体戦優勝

硬式野球部/濱野 哲敬(102期)

初めまして。高崎高校102期卒業生の濱野哲敬(のりたか)と申します。昨年度、翠巒体育会ゴルフコンペに硬式野球部OBとして初参加させていただきました。サンコー72にて雨の中行われた大会では、幸いにもサッカー部に2打差で競り勝ち優勝することができました。

思い起こすこと15年前、高校時代は部活に打ち込む毎日で、高崎高校スピリットを培ってきました。今回のゴルフコンペでは部活同士の対抗戦ということもあり、高校時代に戻ったような気持ちで楽しむことができました。自分自身のゴルフとしても先輩方

にお褒めの言葉をいただきとても嬉しかったです。またこのような機会がなければ高崎高校のOBの先輩方と交流を持てる機会がなかなかないため、非常に貴重なチャンスでした。今後も翠巒体育会を盛り上げるべく100期以降の若手にも声をかけていきたいと思えます。このような機会をいただけたこと、野球部OBの諸先輩がたに導かれ優勝ができたことに感謝したいと思います。

第26回ゴルフ大会 個人優勝

ソフトテニス部/廣瀬 光成(93期)

第26回翠巒体育会ゴルフ大会にて個人優勝させていただきました93期ソフトテニス部の廣瀬光成です。

高校2年生からゴルフ練習場に通いはじめ、ゴルフ歴は24年になります。私は41歳なので人生の半分以上をゴルフと共にしてきましたゴルフ好き

でございます。

前半はパーオン率100%で35回。この時点でベスグロを取りたいと決心します。後半になりバーディー先行でトータル2アンダー!残り4ホールを残し意気込んでいましたが、ボギー。そしてトリプルボギー。

終わってみればトータル2オーバーでベスグロは逃したものの、上手に新ペリア方式にはまり優勝を勝ち取ることが出来ました。

次回大会ではソフトテニス部の貢献はもとより個人優勝・ベスグロ目指して頑張りたいと思えます。

最後になりますが同伴競技者の先



損害保険 三井住友海上火災保険
 生命保険 三井住友海上あいおい保険 メットライフ生命
 アメリカンファミリー アクサ生命
 マスミュージアム生命

7AG 株式会社 トラストAG
 新特級代理店 代表取締役 庭田 登志男(柔道部 68期)

〒370-0073 高崎市緑町二丁目14-4 M'sビル2F
 TEL.027-386-5100 FAX.027-386-5101

株式会社広田住宅センター

代表取締役
広田 金次郎(柔道部 95期)

高崎市田町38(群馬銀行高崎田町支店隣)
 TEL.027-325-0055 FAX.027-330-1181

高崎駅西口
木屋駐車場
 TEL 027-322-5712
 〒370-0052 高崎市旭町128
 鳥居 吉二(柔道部 73期)



●第7回 活性化忘年会



●第7回 活性化忘年会



●第26回翠巒体育会ゴルフ大会



●ゴルフ大会団体優勝の硬式野球部OB会



●第1回編集会議

輩方々、参加者の皆様、運営幹事の皆様、ありがとうございました。

いつまでも盛大に開催されることを祈願し御礼の言葉とさせていただきます。

■第26回ゴルフ大会結果

●団体戦

順位	運動部名	合計
1	硬式野球	325
2	サッカー	327
3	ソフトテニス	341
4	応援	342
5	陸上競技	348

●ネット個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	グロス	HCP	ネット
1	廣瀬光成(総)	39	35	74	4.8	69.2
2	小野里篤雄(山)	36	36	72	2.4	69.6
3	齋藤大器(応)	43	47	90	19.2	70.8
4	濱野哲敬(野)	35	42	77	6.0	71.0
5	阿久澤茂(蹴)	45	47	92	20.4	71.6

●グロス個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	グロス
1	渡辺俊裕(サッカー)	36	32	68

■28年度 翠巒体育会会計報告

収支計算書

自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

科目	金額	摘要
収入の部		
年会費収入	375,000	15部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	315,000	15部
親睦会収入	300,000	平成28年6月20日 高崎ビューホテル
ゴルフ大会収入	360,900	平成28年9月4日 サンユー72カントリークラブ
活性化忘年会収入	260,000	平成28年12月1日 ホワイトイン
雑収入	276,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金 会議個人負担、寄付金
受取利息	13	群馬銀行
(当期収入合計)	(2,186,913)	
特別会計取崩金	0	特別会計より取り崩
前期繰越収支差額	825,517	
収入の部合計	3,012,430	

財産目録 平成29年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部		
現金	29,104	現金手許有高
預金	807,460	群馬銀行高崎栄町 (普通0783238 一般会計分)
正味財産	836,564	

口座振込ご利用の場合は、下記口座までお願い致します。

スライントイックカイ カイケイ シミス ハジメ
群馬銀行 高崎栄町支店 普通預金0783238 翠巒体育会 会計 清水 元

科目	金額	摘要
支出の部		
総会・親睦会費	450,020	平成28年6月20日 高崎ビューホテル
現役等補助金	260,904	関東大会、インターハイ等 出場の運動部、 マラソン大会
会報発行費	426,060	「翠巒体育」第35号
ゴルフ大会費	244,940	平成28年9月4日 サンユー72カントリークラブ
活性化忘年会費	312,000	平成28年12月1日 ホワイトイン
慶弔見舞金	26,200	秋山家
事務用品・通信費	31,448	備品等
会議運営費	223,106	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	1,188	群馬銀行
(当期支出合計)	(1,975,866)	
特別会計拠出金	200,000	特別会計への拠出金
支出の部合計	2,175,866	
(収支差額)	(211,047)	(当期収入合計)-(当期支出合計)
次期繰越収支差額	836,564	収入の部合計-支出の部合計

特別会計 平成29年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部		
普通預金	801,495	群馬銀行高崎西 (普通0593363 特別会計分)
特別会計財産	801,495	



整形外科
ワイズクリニック
■ 整形外科 ■ リウマチ科 ■ リハビリテーション科

院長 **吉田 和人** (サッカー部 81期)

URL <http://www14.plala.or.jp/ysc>

診察時間	午前	午後
月～金	9:00～12:30	3:30～7:00
土	9:00～12:00	1:30～4:30

●休診日:木曜・日曜・祝祭日
〒370-0015 高崎市島野町1038-1
TEL:027-353-0550

OB 各運動部OB会の近況報告



スキー・スケート部
寺澤 佑介
(95期)

いつもOB諸兄、および関係者の皆様には大変お世話になっております。また、現役生、父兄の皆様、県ショートトラックスピード競技会での優勝、高校総体、ショートトラック国体予選での目覚ましい活躍、おめでとうございます。

スキー・スケート部OB会の今年の活動としましては、まず現役部員がより一層充実した部活動がおこなえるよう、支援金をおくらせていただきました。

ウィンタースポーツ、特にスキーは金銭的な負担が多いと思います。そうした部分をOB会としましては、少しでもカバーしていければと思っております。

また昨年、十一月五日(土曜日)にはOB総会、そして懇親会を高崎市内、割烹多喜でおこないました。総会では事業報告をおこない、懇親会で親交を深めました。

現役部員が少ない、これをどうするのか、高崎高校スキー・スケート部の良き伝統をいかにすれば次世代にしっかりとつなげていけるのか……これは私達スキー・スケート部OB会に課せられた大いなる課題だと思っております。

OB一同、現役生が希望と熱意をもってスキー・スケートに打ち込めるよう、知恵をしぼっていきたくと考えております。



陸上競技部
茂原 賢三
(89期)

平成28年度に陸上競技部OB会は結成30年目の節目の年でした。従前より「30周年を記念して何か特別な企画を…」という声があがりましたが、諸般の事情により実施には至りませんでした。例年通り、7月に高崎市内ホテルを会場にして歴代顧問の皆様をお迎えして約40名の出席により総会及び懇親会が行われました。

この会の中での話題の一つに、70期代及び80期代前半の

方々と比較すると、80期後半代及び90期代のOB会総会・懇親会への出席状況・会費納入その他があまり芳しくないということが、あがりました。

他の部では、80期後半から90期代がOB会での中枢として活躍されている方が数多くいらっしゃるようですが、これと比較すると陸上競技部OB会に関しては、やや寂しい状況であることは否めません。

各期別ごとあるいは近い期での集まりあるいは、「〇〇先生の教え子の代」という形では定期的な集まりがあったりしますが、これがOB会全体の集まりや活動に結びついていない、というのが現状のようです。

こうした現状を解消する方法の一つとして、OB会の会長・副会長・理事等の役員世代交代、具体的には80期後半から90期代に役員に就いてもらう、といったご意見が出されています。このご意見については次回の役員改選(次は平成30年度)に活かされることになりそうであります。

この文章を読まれている陸上競技部OBの皆様、とりわけ80期後半から90期代には、ぜひこの現状をご理解頂き、本会の活動にご協力頂けますようご案内申し上げます。



硬式野球部
赤澤 正喜
(84期)

去年の秋季大会、甲子園出場を決めた時以来の現役のベスト4入りで、我々OB達は、大いに盛り上がりましたが、今や私学2強の

一角の前橋育英高校に、大差で敗れてしまい、改めて実力の違いを、痛感させられました。しかし、差があるからだめだと言っても始まらないので、夏の大会までには、その差をつめられるよう、現役共々、我々OBも協力していければと思っております。

例年行われるマスターズの群馬県予選も、5月から開幕します。我が校の初戦は、6月になりますので、是非OBの方々には、奮って参加してもらいたいです。甲子園組に絡んだ世代(110期~112期)が積極的に参加していますので、若い世代の人の参加をお願いしたいです。私のような50代のおじさんも参加しますので、安心して参加してもらえればと思います。ちなみに、去

サンエス工業株式会社
代表取締役 清水 威 (硬式野球部・85期)
本社 高崎市下室田町1159-2 TEL.027-340-1581
高崎工場 高崎市町屋町710 FAX.027-340-1591

創業明治11年
総合建設業・一級建築士事務所
製材・プレカット・アスウッド
ISO-9001
認証取得
株式会社 研屋
専務取締役 清水 正郎 (硬式野球部・75期)
本社/高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

硬式野球部OB **ハワイウォーター**
小林 均 (77期)
有限会社 小金
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614
TEL 027-325-4411(代) FAX027-325-4445

年は、一昨年の優勝校の沼田高校OBに勝利しました。次戦の高崎商業OBには、7回まで、2-1でリードしていましたが、8回に逆転されてしまい、敗れてしまいました。その高崎商業OBがそのまま優勝したことを考えると、本当に惜しい敗戦となりましたが、2年連続でベスト8に進出することができました。今年は、現役同様、その壁を破りたいと思っています。



変わりつつあります。たとえば最近では、恒例行事となった大学野球応援研修の経験をふまえ、どのように運動部の応援活動を盛り上げていくべきか、練習後に議論する姿もみられるようになりました。成長期真っ盛りの彼らは、身体だけでなく心の成長についても驚くほどはやく、日々驚かされています。高校生らしく粗削りで、ときには失敗もしがちな彼らですが、今後とも寛大な心で御支援いただければと思っています。



OBによるリーダー指導



応援部

武藤 康秀
(106期)

我々応援部OB会は、現役応援部の活動を盛り立てるため、春合宿・定例リーダー公開祭・四校合同リーダー公開に同行するなどして、定期的に各種支援をおこなってきました。また研修活動につきましても、六大学野球応援や埼玉県六校応援団連盟「六旗の集い」観覧等を企画し、広く現役活動の支援をおこなっております。

なお非常に残念なことにご十年ほど、部員減少の影響で三人リーダーの演技継承が途絶えてしまっておりました。しかしながら昨年度よりOB会の指導のもと、朝礼での「応援歌翠巒」のサブリーダーが復活しました。本年度の各種リーダー公開祭では、これに加えて「撃滅」も復活の予定となっております。また三人リーダーではありませんが、おなじく継承が途絶えてしまっていた「拍子」「数え歌」につきましても、OB会の指導のもと現在練習中となっております。

なご非常に残念なことにご十年ほど、部員減少の影響で三人リーダーの演技継承が途絶えてしまっておりました。しかしながら昨年度よりOB会の指導のもと、朝礼での「応援歌翠巒」のサブリーダーが復活しました。本年度の各種リーダー公開祭では、これに加えて「撃滅」も復活の予定となっております。また三人リーダーではありませんが、おなじく継承が途絶えてしまっていた「拍子」「数え歌」につきましても、OB会の指導のもと現在練習中となっております。

やはり現代においては昔ながらの応援部が物珍しい存在となりつつあり、生徒からの人気はあれど入部希望者はなかなかいないという、伝統の継承が極めて困難な環境となりつつあります。しかしそんな時代であればこそ逆説的に、バンカラの気風のもとに伝統を継承していく価値は高まっているともいえます。特に六大学系統とは雰囲気異なる高崎高校の応援演技は、確かに継承していくに足る価値をもっているものと思います。ですからこのたび、継承が途絶えてしまっていた演技を復活できたことは、いち応援部OBとしても非常に大きな喜びでした。

またこのような表面的な成果だけではなく、現役部員たちの部活に取り組む姿勢についても、OB会の支援によって徐々に



卓球部

高橋 秀仁
(107期)

翠巒体育会関係者の皆様、第51回高校総体男子総合優勝おめでとうございます。OBの一人として大変うれしく、また誇らしく思っております。今後も好成績を期待しております。

さて、卓球部のOB会は夏と冬の年に2回、現役生との交流試合を行っています。私自身は、昨年初めてOB会の活動に両方とも参加してみました。そこで感じたこと等を述べてみます。これを読んで卓球部のOB会の参加のきっかけとしてもらえればと思います。

さて、卓球部のOB会は夏と冬の年に2回、現役生との交流試合を行っています。私自身は、昨年初めてOB会の活動に両方とも参加してみました。そこで感じたこと等を述べてみます。これを読んで卓球部のOB会の参加のきっかけとしてもらえればと思います。

私のOB会の参加のきっかけは誰かの紹介というわけではなかったため、やはり最初は少し二の足を踏みました。こんな卓球が弱い私が参加していいのだろうかとか、現役生やOBの方たちと上手くやっけていけるのだろうかと思っていました。しかしながら、実際参加してみたところ、まったく問題はなく、むしろOBの方たちに非常によくしていただいております。OB会活動以外の場でも、卓球の大会に誘ってもらったり、飲み連れて行ってもらったり、悩みをきいてもらったりと、今の私にとって大事なコミュニティのひとつとなっています。昨年、勇気を出して参加し

沼野クリニック
内科・胃腸科・外科
院長 沼野 藤雅 (スキー・スケート部89期)
診療時間 AM9:00~12:30 PM3:30~6:30
休診日 木・土曜日午後、日曜・祝日
高崎市柳川町15番地 ☎027-322-2926

内科・皮膚科・泌尿器科・外科
いわい中央クリニック
院長 神保 裕之 (スキー・スケート部83期)
診療時間 AM9:00~12:30 PM3:00~6:30
休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日
安中市岩井2465-1 ☎027-381-2201 電話予約可

産科婦人科 佐藤病院
館出張
院長 佐藤 雄一
スキー・スケート部OB(86期)
〒370-0836 群馬県高崎市若松町96
TEL.027-322-2243 / FAX.027-322-8248
http://www.sato-hospital.gr.jp/

て本当によかったと今では思っています。

私は、昨年度の交流試合で現役生相手に1、2セットは取れてもなかなか勝てないという不甲斐ない結果に終わってしまいました。今年度は後輩に指導ができるレベルくらいには強くなっておきたいと考えています。

昨年の会報で111期の宮原君が述べていますが、現在の卓球部のOB会は年々平均年齢が高くなってきている現状があります。ただ彼の奮闘もあって、現在少しずつではありますが、大学生や20代社会人がOB会に顔を出す人数が増えつつあります。以前に比べると若手OBが参加しやすい雰囲気になってきているのかなと感じています。卓球が上手でなくても構いません、また地元に住んでいなくても構いません。若手OBのOB会参加を切に望んでおります。懇親会だけ出てみたい方や最近ゴルフ始めたからゴルフコンペだけ出てみたいという方も一度参加してみたいはいかがでしょうか。



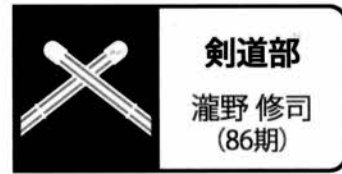
○現役激励会:8月1日(月)高校総体水泳競技会終了後、焼肉パーティーを行った。現役14人+顧問をOB6人でもてなす。注文した肉の量は40人前+70人前の追加。現役の胃袋は、その限界と他人の懐具合を知らない。そうだ!その調子で未来を切り開け!!

○新年会:1月7日(土)正月最初の土曜日(三が日を除く)に高崎駅周辺の居酒屋で行った。74期~89期の15名+当時の顧問丸山先生(68期軟式テニス部OB)を囲んで、大庄水産高崎駅前店で行った。無事に1年を過ごすことができた挨拶で始まり、宴たけなわとなった頃、近況報告を行う。一人3分と言いながら、15分も話をする者があり、あっという間に3時間が過ぎた。店も協力的だった。感謝!!

そろそろ我々も定年を迎える世代であります。高高水泳部OB会と名を打って会を催していますが、各世代で集まりを設けてみたいはいかがでしょうか。学校水泳とスイミングクラブとが融和し、高校時代の思い出を共有できたのが高高水泳部の良さであったと思います。人と人の繋がりの妙を楽しもうではありませんか。



また、我々の会に参加したいとの要望があれば、78期須藤へご連絡下さい。例年12月に新年会の連絡をしているので、11月までに連絡があれば場所等検討します。(会員名簿に自宅連絡先は載っています)



剣道部のOB会の年始めは、1月3日午後の新年稽古会から始まります。今年も、元顧問の別府重龍先生や渡辺正一先生、顧問の國富充敏先生に加えOBが総勢20人参加し、15名の現役高校生とともに汗を流しました。近年は大学生のOBの参加が目立ち、中には進学先の大学の剣道部で活躍するOBもいて、大変活気あふれる稽古会を催すことができました。剣道は技量に応じた稽古をすることができるので、毎日稽古している現役高校生に対しても、剣道からしばらくブランクのあるOBや年配のOBが普通に稽古できるところが魅力です。

春・夏の合宿の際には、十分な額ではありませんが合宿援助を行い、それと共に、高段者や大学生らOBによる稽古会を夜に催すことで、現役高校生の技量の向上を図っています。こちらは、遠征による合宿日程の短縮化によって一晩だけの稽古会しかなくなっているため、参加できるOBが少なくなってしまうのが残念です。

今後も剣友会が高崎高校剣道部の活動を全面的に支援し、一層もり立てて行きたいと考えています。



最近の現役生とOB会の交流は、登山用品の寄付、夏合宿への差し入れ、そして合同山行などが行われております。

特に昨年度は新入部員が多かったことから、山登りの必需品であるザックの寄付という形で協力させていただきました。翠巒祭での現役生との交流に基づき、一番必要なモノとして準備することと致しました。また、夏合宿が一番メインの行事とな

だるま眼科
Daruma Eye Clinic
院長 田邊 祐資 (水泳部 97期)
受付時間: AM8:30~12:00 PM4:00~6:30
休診日: 土曜午後・日曜・祝祭日
高崎市飯塚町1055-1 ☎027-361-8915
http://daruma-ganka.com/

群馬セラミックス株式会社
取締役会長 小貫 諭 (水泳部 69期)
本社工場 群馬県藤岡市上大塚1713-2
TEL:0274-22-2096 FAX:0274-24-4974
吉井工場 群馬県高崎市吉井町小車792-1
TEL:027-387-8677 FAX:027-387-8678
E-mail: onuki@guncera.co.jp
http://www.guncera.co.jp/

真木会 真木病院
高崎PET総合画像診断センター
ガンの早期発見のためにペットドックを
高崎市筑縄町71-1 ☎027-361-8411
真木 俊次 真木 武志 永尾 俊弘
(剣道部 55期) (バスケットボール部 72期) (水泳部 70期)

るため、昨年も差し入れという形で応援することとなりました。

近年では総体でも優秀な成績を収めており、さらなる活躍を期待しております。

近頃はOB会員自身も、再び山にチャレンジしている方が増えてきております。昨年もOB会として四ツ又山及び鹿岳への登山を計画しました。2年前は現役生と合同山行を計画いたしましたが体力差が明確にでてしまいました。早いだけではなく、マイペースで楽しむことができるのが山登りの醍醐味かと思われま

す。以上の内容については山岳部OB会のホームページにて写真付きで紹介させていただいております。翠巒体育会のホームページよりリンクできますので是非ご覧になっていただきたいと思います。



生は練習していますが、昔のように是非OBの方々に応援に来て頂きたいと思います。



バレーボール部
秋山 恭兵
(111期)

バレーボール部OBチームである翠巒クラブは、例年通りの県内の大会では、5月の全日本クラブカップ選手権県予選会、7月の天皇杯群馬県予選会に出場し、ともに決勝まで進んだものの、宿敵・群馬クラブに惜しくも敗れました。全国大会への出場は叶いませんでしたが、7月の関東クラブカップ選手権大会、12月の埼玉の並木杯に群馬県代表で出場し、普段対戦することのない県外のチームと対戦し、高いレベルを経験することができました。20代前半のメンバーが増え、活気のある練習ができており、全国大会出場という目標に向かって引き続き活動を行っていききたいと思います。

また、恒例となっておりますバレーボール部現役生との練習会及びOB新年会が平成29年1月3日に開催されました。今年

ソフトテニス部
田口 恵一
(74期)

平成28年8月7日(土曜日)晴天のもと高高テニスコートにて、現役とOBとの親善テニス大会をおこないました。現在でもソフトテニスを続けている68期丸山先輩を筆頭に中学校でソフトテニスを指導している78期原田君、80期島田君、81期須賀君、82期武井君は、歳を感じさないプレーで現役生と戦いました。103期から115期若手OB10名は現役生と熱戦を繰り広げていました。

親善試合終了後、去年と同様に萬嵐にて現役生と中華料理を食べながら親交を深めました。OBは高崎市ソフトテニス連盟会長55期峯先輩から111期若手まで10名参加し、現役生は昼の部13名全員参加しました。

私が高校生の時は高高にはコートが1面しかなく、城内コート(郵便局の前にかつてあったコート)で練習していました。その時はOB先輩達が気軽にテニスコートに来て、顧問の鴻巣先生と共に指導してくださいました。現在は高高のコートで現役



有限会社 北原タイヤ商会
各種タイヤ販売・卸・修理・各種ホイール販売
代表取締役 北原 幸一 バレーボール部OB(86期)
〒370-0043 高崎市高関町316-6
☎(027)323-5988 FAX(027)323-5858

製鋼原料・非鉄金属
産業廃棄物収集運搬・計量証明
上越鋼業株式会社
代表取締役社長 波瀆 憲昭 同窓会副会長
高崎市上豊岡町560-10 〒370-0871(八幡第二工業団地)
TEL(027)343-1325(代) FAX(027)343-9569

高橋浩生税理士事務所
税理士 高橋 浩生 バレーボール部(78期)
税理士 白井 浩一 水泳部(89期)
〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10
TEL.027-363-6303 FAX.027-363-6302
http://www.kaikai-home.com/cpta_hiro-hp/

の新年会は参加者の半分以上が20代・30代の若手で、賑わいのある会になりました。今後もバレー部顧問である柴山俊広先生(103期)と協力し合い、現役生の支援を続けていくとともにOB会の活躍の場を拡げていきたいと思っております。



バスケットボール部
塚本 浩史
(99期)

日頃よりOB諸兄をはじめ、関係各位には大変お世話になっております。前号では、群馬県の新人戦で優勝して関東新人大会で

ベスト4入賞の成績を取めたものの、総体では不本意な成績であったのでインターハイ出場を目指して健闘を期待したい旨を述べさせていただきましたが、まさに前号が発行される時に、バスケットボール部は13年ぶり16度目となるインターハイ出場を決めました。

広島で開催されたインターハイには、OB会から田中副会長、金田会計担当をはじめとするOB諸兄が応援に駆けつけましたが、試合が日曜日であったこともあり、若手のOBも応援に駆け付けている姿を散見できました。試合の結果は1回戦敗退でありましたが、目標とするインターハイ出場を達成した後輩たちを大変誇らしく思います。

私立の強豪校や伝統校が常連となる全国大会では、進学校でもありなかなか常連校とはなり難い環境にありながら、インターハイで活躍できたことは、連綿と受け継がれてきた部や高校の歴史に光明をもたらただけでなく、メディアも高い関心を持たれていました。特に、昨年度の卒業生は進路においてもそれぞれの希望する道を歩み、まさに学是とする「文武両道」を見

事に体現したことをご報告申し上げます。

しかし、忘れてはいけないことは、この輝かしい経験は翠體体育会の皆様や高崎高校のOB諸兄が所属部に係らずバスケットボール部を応援いただき、生徒それぞれのご家族や保護者会の支援があってこそ成し遂げられたことです。これは、私たちが後輩たちに必ず伝え続けなくてはならないことであると、深く心に刻んでおります。改めてご支援ご協力いただいた関係各位に感謝を申し上げあげ、ご報告申し上げさせていただきます。



ラグビー部
芳賀 弘幸
(81期)

高崎高校ラグビー部OB会は、今年度、OB会組織が大きく代わりました。新OB会長として、我が同期である81期 黒石康暢君、副会長は、80期 今村先輩が大役を務ることになりました。また、全国大会出場経験もある花園プレーヤー83期 表野君が理事長を務めることとなりました。これまで、ラグビー部OB会をまとめていただいた前会長内田先輩、前副会長福島先輩に感謝しながらも、これからのラグビー部OB会へのご指導ご鞭撻をお願いしております。

さて、高崎高校ラグビー部OB会として、最も歴史の深い活動として、毎年1月に行われるOB戦があります。「現役激励」の目的で、絶えることなく続いていて、今年も、たくさんの参加者が集まりました。試合観戦だけのOBはグラウンドで現役に檄をとばし、OB戦目的で集まってきた卒業したての若手から、年配のOBまでが、試合を通して、現役ラグビー部員にラグビーの厳しさ、楽しさを体を通して伝えました。

次に、大きな活動として、「高高ラグビー祭」があります。今回で10年目を迎えたこの行事は、前ラグビー部OB会長の内田さんが、様々な世代で楽しめるラグビーを広めるために始められたOB会行事です。今年は3月25日に行いました。高高ラグビー部OB会の行事ではありますが、高高ラグビー部関係者に関わらず、ラグビー好きが集まり、ラグビーを楽しむ、まさに「祭」です。現役も含め、参加者全員が楽しめるように試合を組み、その後、BBQ大会、ビンゴ大会、オークションを行います。オークションに



試合中の高崎高校ベンチ(昨夏のインターハイにて)



生徒、父兄、OBらによる応援団が、観客席を青く染めました。



第10回 高高ラグビー祭

社会福祉法人 岳雄会
幼保連携型認定こども園
エドゥカーレ城之内
モンテッソーリ教育実施園
高崎市浜川町249-3 TEL.027-343-1676
山岳部OB(79期) 理事長 吉井 昭道

山岳部OB(84期)
代表社員・税理士 真下 哲夫
税理士法人 真下経営
高崎市倉賀野町3557-4 TEL.027-346-1463

山岳部OB(78期)
税理士 吉井 章一
吉井章一税理士事務所
高崎市中居町251 TEL.027-328-6701

は、諸先輩方や関係各位から多大な景品の寄付をいただき、例年のことながら大変盛り上がりました。現役保護者の作ってくれるトン汁も名物料理となってきました。毎年ありがとうございます。この行事の中で、卒業生を参加者に紹介する企画があります。若者の熱い思いを聞かせていただき、自分も高校生時代の熱い思いを懐かしく思い出すひとときでもありました。卒業生には、高高ラグビー部で3年間過ごしたことに誇りと自信を持ってほしいと思います。

高高ラグビー部がさらに発展してくれるよう、冬の花園全国大会出場に向け、OB会は一層の支援を行っていきたくと思っています。



サッカー部
根岸 強
(87期)

今年度は、サッカー部創設70周年をむかえますので、記念事業として講演会の開催及び、高崎高校サッカー部エンブレムの作成、

OB会員の連絡網の整備等を行う予定です。併せて、人工芝グラウンドの構想計画を開始し、80周年をめでに完成を目指す予定としております。

近年は、OB会への参加者が限られており、OBが現役選手の活動を支援するためには、OB総会等の行事や翠巒クラブに100期以降の年代の参加することが不可欠であります。70周年を機会にOB会活動の活性化が計ればと考えております。

また、通常行事としては、1月2日の初蹴り会、2月の総会・懇親会、8月の前橋高校との定期戦を行っております。

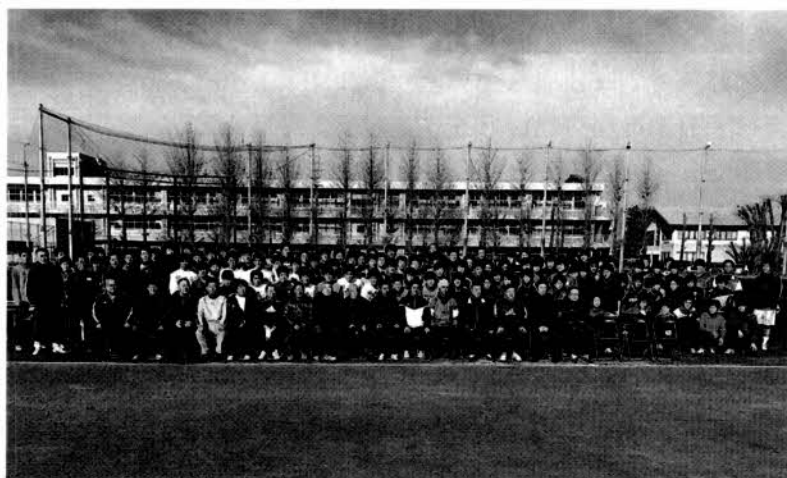
群馬県社会人リーグに参加している各年代の成績は下記のとおりです。

翠龍は前橋高校OBとの合同チームです

翠巒クラブ	群馬県社会人リーグ 3部Bブロック	5勝3敗1分	4位
翠龍ミドル	群馬県シニア40リーグ 2部	12勝7敗1分	4位
翠龍ミドル50	群馬県シニア50リーグ	5勝7敗1分	8位

各年代とも新メンバーを加え、怪我なく、楽しく、勝利目指して頑張っております。

試合結果については高崎高校サッカー部OB会のホームページ



ージに随時更新される予定ですので、機会があれば閲覧してください。



テニス部
北村 真行
(85期)

硬式テニス部OB会の活動は、毎夏お盆休みの土曜日に行われる母校コートをお借りしてのOBテニス大会、同日夜の懇親会を中心に、在郷のOBで結成するテニスチームで参戦する春・秋開催高崎市クラブ親善テニス大会等で交流を深めています。昨年の夏OBテニス大会では、現役一年生の参加も頂き、年の差と照りつける日差しを乗り越え果敢に対戦を挑みました。このような機会を利用し、現役の皆さんにもOB会の存在と活動を伝えられたらと思っています。

懇親会においても時節柄帰省している大学生OBが顔を出してくれたりすることも増え、若いOBにも拓かれたOB会であることを周知していければと考えています。

当面の課題としては、現在70期代後半より80期代で構成されているOB会に、90期以下、若手の方により多く参加いただけるような縦の連絡体制作りの強化を目指して行きたいと考えます。願わくば、初の総体優勝を勝ち得た黄金の94期の皆さんの武勇伝も伺いたいたいところです。

他部に比べ比較的創設が若い我が部も来年、1978年の同好会発足より数えて40周年の節目となります。発足当時の諸先輩のお力を借りながら、来年に向けての記念行事、部史の編纂、ホームページの充足等の企画も進めていければと思っています。今後ともテニス部OB会をよろしくお願いいたします。



2016年8月13日(土) OBテニス大会 高崎高校テニスコートにて



柔道部
伊藤 俊一郎
(92期)

柔道部OB会の活動としては、本年も1月3日に高崎高校の柔道場にて現役・OBにて行われる初稽古、及び会場を移動しての新年会

を行いました。

初稽古については、顧問の田中先生の指導のもと、まずは礼

カーエレクトロニクス グッズ&サービス
群馬電装株式会社
本部・サービス部：高崎市江木町117
TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627
<http://www.gunmadenso.co.jp/>
代表取締役社長 川口 昌啓(剣道部74期)

群馬トヨペット株式会社
前橋市石倉町 2-6-5
TEL 027-251-5111(代) FAX 027-252-1251
代表取締役社長 大山 駿作(剣道部71期)

金井勉社会保険労務士オフィス
社会保険労務士 **金井 勉**
(剣道部 66期)
〒216-0031 川崎市宮前区神木本町2-9-1
TEL.044-948-6591
E-mail kanai7@world.ocn.ne.jp

に始まり、寝技乱取り稽古や立ち技乱取り稽古などが行われていきました。若い現役部員とOBが共に稽古をしながら、しっかりと身体を動かしていきました。

続いて、恒例となっている現役部員vsOB部員の対抗戦が行われました。昨年と同様、現役部員に対し集まったOBの人数が多かったためOBは2チーム編成し、現役部員は2回試合を行う形式となりました。全体的にはOBの力が強いのですが、現役部員はそれでも何とかしようとして食らいついている様子が見られました。そして、最後は礼をもって初稽古は終わりました。

新年会については、高崎ビューホテルを会場にして行われました。平成28年3月に教員を定年退職された、高崎高校柔道部OB会 鳥居 吉二会長(73期)のあいさつや、新年会に出席した

OBがそれぞれ近況報告を行うなど、和やかな雰囲気の中で柔道部OB会の交流が図られました。



高崎高校運動部長
新井 康司

翠巒体育会の皆様には、日頃より各運動部活動へ多大な御支援、御後援をいただき誠にありがとうございます。各部顧問を代表しまして厚く御礼を申し上げます。

今年度より田中利明先生(柔道部顧問)の後任として運動部長になりました、保健体育科 新井康司と申します。平成27年度より本校へ着任し、陸上競技部の顧問を引き継ぎ3年目となりました。運動部長として、本校運動部の活動がますます活発になり、関東・全国大会等において顕著な成績が収められるよう全力でサポートしていきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

さて、現在の運動部活動の状況であります。所属者数は534名(1年生168名、2年生175名、3年生191名)で、運動部加入率は55.3%という状況で、過去5年間で最も低い加入率でありました。これは2020年より大学入試において新テストが導入されるなど、学校教育も変革期を迎えており、特に1年生の学業への不安が影響していることも予想されますが、運動部活動の意義、素晴らしさをしっかり伝えることで加入率を増やし、本校の教育目標の一つである、3F精神の涵養や文武両道の堅持にもつながっていかばと思っております。

今年度は高校総体総合6位と、昨年度の総合優勝から大幅に順位を落とす結果となってしまいましたが、気落ちすること無く、各部が一丸となって強化し、来年度は必ずや総合優勝に振り返りたいと思います。

〈高崎高校運動部の活動報告〉

先輩がんばってます。



卓球部

浅野 健

私達卓球部は、3年生11人、2年生3人、1年生6人の計20人で顧問の長谷川先生、小久保先生、江原先生の指導の下、高校総体ベスト8以上を目標に日々の練習に励んでいます。

高崎高校ではレベルの高い文武両道をかけがえなく、他校と比べて練習量が少ない状況にありますが、日々の少ない練習の中で一人一人が自分には何が足りないのかを意識し、質の高い練習により実力を着々と向上させています。

また、卓球の技術だけでなく人間としての成長も目標としており、部員全員がいつも支えて下さっている先生方、OBの方々に対して感謝の気持ちを持ち、部活動に対する真摯な姿勢を大切にしています。

今後も努力を積み上げ、大会に向けて全力を尽くしていくので、応援よろしくお願いいたします。

めまい・補聴器・アレルギー
各種日帰り手術

清水耳鼻咽喉科

院長 清水 祐二
(サッカー部73期)

高崎市京目町321-4

●診察時間 午前 9:00~12:30/午後 2:30~6:30

●休診日 日祝祭日・土曜日午後

<http://www.shmz-ent.com/>

☎027-353-4533

**ラグビー部**

演名 諄一郎

私達ラグビー部は、森田先生、川田先生、皿山先生の御指導の下、3年生8名、2年生7名、1年生2名で関東・全国大会出場を目標に日々練習に励んでいます。

県内私立高校に比べて短い練習と少ない人数で勝利するためには、小さな積み重ねによって力をつけ、競り勝っていくことが重要であると考え、チーム目標として「僅差のラグビー」を掲げました。チーム全体での練習では主体的に集中して取り組むことで確実に力をつけています。個人練習としては、少しでも体を大きくするために、食事を多くとり、工夫したウエイトトレーニングを行うなど部員1人1人が日々努力しています。

最後に、応援して下さいのOB会をはじめとしたたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、目標達成のためワンチームとなって戦い抜きたいと思ひます。応援宜しくお願い致します。

**スキー・スケート部**

丸山 凜太郎

スキー・スケート部は現在3年2名、1年1名で活動しています。今シーズンの目標は世界大会出場です。今年度はオリンピックイヤーということもあり、部員一人一人が自分を高めることができる最高のシーズンです。自覚を持って日々の練習に取り組み、飛躍の年にしたいと思ひています。

また、翠巒祭実行委員や高前定期戦実行委員にも積極的に参加して、行事を盛り上げていこうと思ひています。

練習時間が夜にあたることから、勉強時間の確保が難しい部活ではありますが、文武両道が実践できるよう頑張ります。

高崎高校スキー・スケート部を応援して下さいの方々へ感謝を忘れず、さらなる発展に貢献していきたいと思ひます。よろしくお願い致します。

**テニス部**

赤池 一樹

私たちテニス部は人数が多い中、限られたコート工夫して使っています。

先日行われた高校総体個人戦ではシングルスベスト32が3人、ベスト64に1人という結果でした。ダブルスではベスト32で悔しい負け方をしてしまったのでインターハイ予選ではもっと上を目指して頑張りたいです。

今後行われる団体戦ではベスト4を目指して、最後の1球まで諦めずに強い気持ちで勝利を掴みたい思ひます。

最後に、顧問の岡田先生や副顧問の吉澤先生、中川先生のご指導、家族やOBの方々日々の支えに感謝し、高崎高校の代表として多くの期待を背負っていることを自覚し、今まで切磋琢磨し合ってきた素晴らしい仲間たちと一緒に一勝一勝を積み重ねていきたいと思ひているので、応援宜しくお願い致します。

**ソフトテニス部**

大河原 爽

私達ソフトテニス部は現在3年生4名、2年生8名、1年生10名の計22名で関東大会、インターハイに出場し、上位入賞を目指し日々、練習に励んでいます。

他の強豪校と比べると練習量で大きく差がありますが、各自が高い意識レベルと目標を持ち、高高兴兴しいプレーを追求することで勝利を目指しています。

高校総体では団体で関東出場、個人でも1ペアでも多く関東大会へと出場し、インターハイ予選につながるような結果を残したいと思ひます。

最後に、指導をして下さる先生方やOBの方々、私達を支えて下さる保護者の方々、そしてこのようにソフトテニスができる環境に感謝を忘れずに全力で戦い抜くので、応援よろしくお願い致します。

**空手道部**

南雲 龍

空手道部は現在3年生2名、2年生1名の計3名と少人数ながらも1人1人が自分達の目標に向かって、日々稽古に励んでおります。

人数が少ない中、部員同士で自分達の弱点を話しあったり、工夫した練習をとり入れることでよりよい成績を収めるための努力をしています。また、他校との合同練習やリーダー研修会に参加させて頂くことで毎日の稽古のよい刺激となっています。様々な助言や激励のお言葉を下さったOBの方々を始め、沢山の皆さんに大いに感謝しております。

そして先輩方が築いてきた伝統を受け継ぎ、今後より一層の飛躍のために日々精進していきたいと思ひます。日々の感謝の気持ちを忘れず、空手道を通して人間としてより成長できるよう努力していきますので、応援よろしくお願い致します。

**サッカー部**

川岸 和樹

私達サッカー部は、顧問の吉田先生、副顧問の飯出先生、須田先生の御指導の下、3年生26人、2年生29人、1年生28人の計83人で関東・全国大会出場を目標に日々練習に励んでいます。

その中で私達は、サッカー部としての自覚とプライドを持ち、グラウンド内だけでなく、生活面を見直し、オフザピッチの質を上げるよう努めています。

現在のチームは、新人戦をベスト8という結果で終えて、悔しさが残りました。総体とインターハイ群馬県予選で関東・全国大会への切符を掴めるよう内容の濃いトレーニングを続けています。ボールと選手が流動し、見る人を楽しませる高高兴兴サッカーで結果を出したいと思ひますので、これからも高崎高校サッカー部へのご支援のほど、よろしくお願い致します。

テニス部OB(84期)

山口正仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!

ブルデンシャル生命保険株式会社 品川第二支社

TEL 03-6682-4440 携帯090-9309-9492

芸大美大美術系高校 受験予備校 **高崎美術学院**高崎市岩押町35-12 ☎027-322-6548
<http://www.art-takabi.com>社会人のための **美術教室 アートフォーラム高崎**高崎市岩押町31-11 ☎027-326-5585
<http://www.art-takabi.com/artforum>

代表 北村 真行 (テニス部85期)

テニス部OB(91期)

原 寛**カネト水産** つりぼり・虹鱈料理・手打ちそば

高崎市倉瀬町川浦3900-156 TEL.027-378-3132

ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>



弓道部

村岡 晃輔

私たち弓道部は現在、3年生14名、2年生13名、1年生12名の計39名で日々練習に励んでいます。弓道の本質は、自分の体に何が起きているか、第三者的視点から自身を俯瞰、課題を発見、課題を克服することにあります。だから私たちが今一番大切にしているのは何においても“意味を考える”ことです。勝つことに意味があるのではなく、勝つための意味があるのです。そして今私たちは様々な苦勞を乗り越え、愚直に自身の弓を引いてきて、ようやくこの意味を手に入れました。だから次は、私たちが勝つ番です。本当に頂点を狙う者とそうでない者の強さには埋められない溝があるから、私たちが狙うのは全国区での頂点です。よってこの場合は総体とインターハイでの優勝を誓って締めたいと思います。常にチャレンジャーであり、他人への感謝、そして意味を失うな。そうすれば勝利は自ずと手を延べてくるはずだ。



水泳部

須田 大輝

私たち水泳部は現在、3年生9名、2年生3名、1年生4名の計16名で、顧問の山田先生のご指導の下、各々がスイミングスクール、又は学校のプールで、目標を達成すべく日々厳しい練習を積み重ね、レベルアップを図ってきました。

昨年度の成績として、個人、リレー共に関東大会出場を果たしたものの、全国大会出場の目標を果たすことができませんでした。なので、今年度の目標として、個人、リレーでの関東大会、全国大会出場の目標を掲げています。目標の達成、及び団体では総体で男子総合3位以内に入ることを目指し、限られた時間の中で、課題を見つけては克服し、力をつけていきたいと思ひます。

部員全員が団結し、厳しい練習に励み、結果を残していきたいと思ひます。応援よろしくお祈いします。



硬式野球部

樺澤 亮介

私達硬式野球部は、境原先生、關根先生、井上貴志先生、大隅先生の指導のもと、3年生16人、2年生16人、1年生24人の計56人で日々の練習に取り組んでいます。

今春は、昨秋と同じくベスト4に進出することができ、夏の大会で高崎史上初の優勝を目標に、部員の意識も高まっています。

今年は個人練習の時間を確保することで、一人一人の弱点や役割を深く考えることを大切にしています。また、コミュニケーションをとることも重視し、プレーの中で疑問に思ったことや改善すべき点が見つかった時には練習を止めて話し合い、野球についてより深く考えるようにしています。

春、秋共にベスト4に進出できたという自信と共にコールド負けという悔しさを胸に、夏の大会を戦い抜きたいと思ひます。応援よろしくお祈い致します。



バレーボール部

佐藤 理久

バレーボール部は柴山先生、林先生、大久保先生の熱心なご指導の下、部員18名でチームの最大の目標のインターハイ出場を目指して日々の練習に励んでいます。

現在、私たちは高校総体を目前に控えており、まずそこで優勝し、インターハイ予選に向けて勢いをつけるため、チームの弱点である守備力を強化しています。県内でも身長が高くない私たちは、レシーブで粘って勝ち切るというプレースタイルしか無いので、どんなボールでも落とさない泥くさいバレーボールをしていきたいと思ひます。

また、日頃から私達を支えてくださるOBの方々や保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず、そのような方々を裏切らないためにできる限りのことを全力でやり抜き、結果に結びつくよう精一杯頑張りますので応援よろしくお祈いします。



山岳部

福田 拓海

山岳部は、顧問の井上先生、滝沢先生、一倉先生、國富先生のもと、活動を行っています。今年度は3年生9人、2年生28人、1年生6人の計43人で日々活動しています。

去年入部した現在の2年生が多く、装備が足りず困っていたところ、多大な援助をしていただいたOB会のみならずにはこの場を借りて深くお礼申し上げます。このご期待に答えられるよう、今年こそ総体優勝を成し遂げたいと思ひます。

去年の総体では1点という僅差で2位という結果に終わり、1点の大切さに気付いた年でした。この教訓を生かし、今年度は「あと1点」を取りに行きます。そして我々の代で高高山岳部に新たな歴史を刻みます。

応援、宜しくお祈いします。



バドミントン部

佐藤 和優

私達バドミントン部は、顧問の星野先生、市川先生の御指導の下、団体戦での関東大会出場を目標に、部員34名で活動しています。

バドミントンの経験が浅い私達は、他校の経験者と戦うために、先輩方から受け継いだ技術と知識を活かし、自分達で試行錯誤を繰り返しながら、日々の練習に取り組んでいます。また、技術面で劣っている私達は、経験者と渡り合うだけの集中力を身に付けるべく、一つ一つのプレーを大切に、常に緊張感を持ってプレーに臨むよう心掛けています。

ここ数年間、私達は県内の強豪校を倒せず、思うような結果を残すことができていませんでした。なので今年こそは、部活全体で切磋琢磨し、先輩方が成し得なかった戦績を残したいと思ひますので、これからも応援よろしくお祈いします。

目指せ! 全国制覇 **チャレンジ** ソフトテニス部 高崎高校

ソフトテニス部OB会 会長 丸山 博(68期)

**柔道部**

高橋 潤

私達柔道部は顧問の田中先生と副顧問の栗原先生の御指導の下、三年生2名、二年生3名、一年生3名の計8名と少ないながらも、関東大会、全国大会出場を目標に日々練習しています。また私

達は限られた練習時間の中で自分達で工夫しながら練習メニューやトレーニングメニューを考えて行っています。柔道は他の競技と比べ相手と直接組み合うので体の強さが勝敗に大きく影響します。ですので私達は技術面の向上はもちろん体の面での向上も重点的に行った結果10kg~20kgの体重を増加させることができました。三年生、二年生は力強い柔道ができるようになりました。

まずは昨年度の関東大会出場に続き今年も関東大会に出場し、その後行われるインターハイに出場できるチームになりたいと思います。日ごろから支えて下さる先生、OB、保護者の方々に感謝し、精進していきます。これからも応援よろしくお祈りします。

**バスケットボール部**

鈴木 亜蘭

バスケットボール部は、渡部先生のご指導の下、3年生15名、2年生8名、1年生13名、計36名で昨年に引き続きインターハイ出場を目標に、日々練習に励んでいます。

目標を達成するには、自分達よりも何倍も練習を重ねている私立高校に勝たねばなりません。そのために私達は、勉強や行事に追われる中、限られた活動時間でいかに集中し、練習の質を向上できるかを追求しています。

大会では、今まで共にどんな辛いことでも乗り越えてきたチームメイト全員で、貪欲に勝利を目指し、そして今までご指導して下さいました先生、支えて下さった保護者の方々、OBの方々、応援して下さいました全ての人への感謝の気持ちを忘れずに、全力を尽くして戦ってきます。応援よろしくお祈りします。

**応援部**

富田 八雲

我々、群馬懸立高崎高等学校応援部は創部以来六十五代を数え、日々母校の発展の為、全力を尽くして参りました。現在総勢五名で活動しております。昨年度は部員数が少ない中、当部の活動の幅を狭めないように、例年と同様に活動させて戴きました。具体的には主に硬式、軟式野球部、バレーボール部などの諸運動部応援、定期戦応援、そして全校集会での校歌、及び応援歌の指揮が挙げられます。入部した当時、私は応援部とは、ただ一途に高生生の応援をする部活動であると思っておりましたが、最近、応援部とは応援をする身でありながらも、一番高生に応援をされている部活であると感じております。これからもその応援と期待に応えられるよう、日々精進していく所存であります。結びに我が群馬懸立高崎高等学校、そして皆さまの更なる御発展を祈念させて戴き、駄文では御座いますが、御挨拶と致します。押忍。

**陸上競技部**

吉井 柊人

私達陸上競技部は、3年生12名、2年生18名、1年生9名の計39名で、顧問の新井先生、萩原先生のご指導の下、活動しています。

昨年度はインターハイ3種目出場を果たし、今年度はなかなか例年通りの結果は残せていませんが、この流れにのるため「剛毅果断」を目標に掲げ、個人のレベルアップ、思い切って物事を行う決断力の向上を図りました。冬季の練習では筋トレ後には必ず走練を入れて、ケガ予防や筋肉の柔軟性を高め、リレー形式の練習を多く取り入れ競争心やチームのまとまりを育む工夫した練習を行いました。これらの練習を生かしインターハイ複数名出場、学校対抗3位、関東駅伝出場という目標を達成していきます。

最後に顧問の先生方や支援をして下さる保護者やOBの方々に感謝を申し上げます。これからも応援よろしくお祈りします。

**剣道部**

井田 隼輔

私達剣道部は、現在、顧問の國富先生、副顧問の竹内先生、OB会長の藤木先生、前々顧問の渡辺先生のご指導の下、3年生12名、2年生3名、1年生8名、計23名で日々の稽古に励んでいます。

今年度の目標は、前年度に達成することのできなかつた、関東大会出場です。そのためには、他校と比べて短い練習時間で、集中し、頭を使って考えながら剣道をすることが求められます。高崎高校剣道部が目指していく剣道とは、「正しく、強い剣道」だと私は常に考えています。高生という地盤の上に立つ剣道部員として、部員全員が、高い知性と力強さを兼ね備えた剣道を身につけたいと思っています。

これからも、日々全力で稽古していきますので先生方やOBの先輩方、保護者の方々、ご指導、応援のほどよろしくお祈りします。

**軟式野球部**

池島 大智

私達軟式野球部は3年生11名、2年生7名、1年生5名の計23名で関東大会優勝という目標に向かって日々練習に励んでいます。昨秋の大会では準決勝で桐生高校に2-4で敗れ、今春の高校総体では1回戦で前橋育英高校に延長14回の攻防の末、2-3でサヨナラ負けを喫しました。この結果を受けて、3年生を中心に試合での反省点を挙げ、夏季大会での北関東大会優勝という目標に向け、残り少ない期間に何をすべきなのか話し合いました。

軟式野球は硬式野球に比べ、ボールの速さや跳ね方が大きく異なるので、長打が出にくく、点の取りにくいスポーツです。だからこそ、軟式野球なりの戦い方があり、面白さがあり、1つ1つの小さなプレーが勝敗の鍵を握ると思っています。

野球を楽しむ気持ちを忘れず、応援して下さる方々の期待に応えられるように努めていきますので、応援よろしくお祈りします。

**目指せ！
極限の自己を！！**

高崎高校 陸上競技部OB会 会長 波多野重雄(77期)

陸上競技部OB会ホームページ
<http://sports.geocities.jp/takatakarikujouob/index.html>

平成28年度運動部活動状況

硬式野球部

春季関東地区高校野球大会群馬県予選
2回戦 4-0 常磐
3回戦 10-0 市太田
4回戦 4-6 育英 **ベスト16**
全国高等学校野球選手権群馬大会
2回戦 0-7 清明
秋季西毛リーグ
予選 5-0 県央
3-11 健大高
3-3 藤中央
6-1 中央中等
6-3 富岡 **予選リーグ2位**
秋季大会
1回戦 10-0 利根実 (6回コールド)
2回戦 4-1 藤工
3回戦 3-2 青翠
準々決勝 4-3 前西
準決勝 0-10 育英 **ベスト4**
春季西毛リーグ
予選 5-1 高東
5-3 藤工
5-4 富岡
決勝トーナメント 準決勝 6-1 高工
決勝 4-6 県央 **準優勝**
春季大会
1回戦 4-2 中之条
2回戦 9-3 四つ葉
3回戦 7-1 太東
準々決勝 10-6 清明
準決勝 0-7 健大高 **ベスト4**

バレーボール部

関東大会
1回戦 0-2 千葉商大附(千葉)
インターハイ予選
3回戦 2-0 前南
準々決勝 2-0 前橋
準決勝 1-2 伊勢崎 **第3位**
西毛地区大会
準々決勝 2-0 農二
準決勝 0-2 県央 **第3位**
全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選会
3回戦 2-0 太田
準々決勝 2-0 前商
準決勝 0-2 高工 **第3位**
新人大会
1回戦 2-0 市太田
2回戦 2-0 渋工
準々決勝 2-0 県央
準決勝 0-2 前商 **第3位**

空手道部

インターハイ予選
団体組手 0-3 前商
個人組手 宮下翔 **3回戦敗退**
新人大会
団体組手 1回戦 0-3 中之条

水泳部

関東大会県予選会
50m自 増田亮 3位
" 須田大輝 4位
100m自 中島悠太 5位
" 須田大輝 6位
200m自 中島悠太 4位
400m R 3位
800m R 4位
400mメ R 6位
県高校総体
50m自 増田亮 5位
" 須田大輝 8位

100m自 中島悠太 3位
" 増田亮 8位
200m自 中島悠太 2位
400m R 3位
800m R 5位
400mメ R 4位
新人大会
50m自 井尻雅人 1位
50m背 吉田知生 6位
50m平 古川竣介 1位
100m平 古川竣介 3位
50mバ 井尻雅人 1位
" 宇都宮琉也 2位
100mバ 宇都宮琉也 3位
200m R 2位
200mメ R 2位

柔道部

関東大会
(柔道競技) 団体トーナメント1回戦 0-3 横浜(神奈川)
(相撲競技) 予選リーグ 0-5 東洋大牛久(茨城)
1-4 都留興譲館(山梨)
1-4 蔵(埼玉) **予選敗退**
インターハイ予選
団体 準々決勝 1-4 常磐 **ベスト8**
個人 73kg級 内山栄太郎 第3位
" 高橋俊圭 **ベスト8**
81kg級 小林陸 第3位
100kg級 湯本祥伍 **ベスト8**
国体
個人 90kg級 小林陸 第3位
平成28年度少年柔道強化選手選考会
60kg級 和田智輝 第4位
73kg級 野本龍也 第5位
90kg級 小林陸 第5位
100kg級 湯本祥伍 第2位

新人大会
団体 2回戦 4-0 興陽
3回戦 2-2 桐一(内容負け) **第6位**
全国選手権予選
団体 2回戦 〇-x 沼田(1人残り)
3回戦 x-〇 育英(3人残り) **ベスト8**
個人 60kg級 和田智輝 第3位
無差別級 湯本祥伍 **ベスト8**
東北大学青葉杯優勝大会
予選リーグ△-△ 東北学院(宮城)
〇-x 八戸工一(青森)
〇-x 新庄北(山形)
決勝 1回戦 〇-x 秋田(秋田)
トーナメント準決勝 〇-x 川越(埼玉) **準優勝**
慶應大学杯争奪柔道大会
60kg級 和田智輝 **ベスト8**
73kg級 高橋潤 **ベスト8**
81kg超級 小林陸 **ベスト8**
" 湯本祥伍 **第3位**
東京大学七徳杯高校招待柔道大会
予選リーグ 5-0 桐朋(東京)
3-1 浜松北(静岡)
決勝 1回戦 4-1 城北(東京)
トーナメント準決勝 4-1 ラサール(鹿児島)
決勝 2-3 大阪星光(大阪) **準優勝**

群馬県高等学校学年別柔道大会
1学年 66kg級 佐谷戸恒太 **ベスト8**
" 73kg級 オノメナ イケナ大樹 **第3位**
" 100kg級 角田壮琉 **第3位**
2学年 湯本祥伍 **優勝**
" 和田智輝 **ベスト8**

ソフトテニス部

インターハイ予選
団体 1回戦 3-0 尾瀬
2回戦 2-1 中之条
準々決勝 0-2 高商 **ベスト8**

夏季大会
団体 1回戦 3-0 前橋
2回戦 2-1 育英
準々決勝 1-2 中之条 **ベスト8**
新人大会
団体 1回戦 3-0 新田曉
2回戦 2-1 沼田
準々決勝 0-2 高商 **ベスト8**

ラグビー部

第3回全国高校ラグビー7人制大会
予選プール 14-10 高松北
12-40 報徳学園
プレートトーナメント(2位トーナメント)
0-36 慶応志木
1年生大会(高崎・高工合同チームとして)
45-0 合同C
45-5 合同E
0-22 県央 **準優勝**
群馬県選手権大会(全国大会県予選)
準々決勝 27-19 桐一
準決勝 12-53 農二 **第3位**
新人大会
準々決勝 0-61 桐一
7人制大会
2回戦 45-0 桐西
準々決勝 12-21 農二

軟式野球部

全国選手権県予選
1回戦 2-0 育英
2回戦 7-1 前商
準決勝 4-2 桐生
決勝 0-1 高商 **準優勝**
第57回秋季関東地区高等学校軟式野球大会群馬県予選会
2回戦 5-1 桐工
準決勝 2-4 桐生 **第3位**

剣道部

インターハイ予選
団体 1回戦 5-0 利根商
2回戦 5-0 清明
3回戦 1-3 渋川 **ベスト16**
学校対抗選手権
2回戦 0-3 館林 **ベスト32**
新人大会
団体 2回戦 1-1 市太田(代表戦で敗退)

山岳部

関東高校登山大会(埼玉県雲取山) **出場**
第47回新人登山大会
男子縦走 竹上京里(1年) **第6位**
松本 悟(2年) **第11位**

陸上競技部

関東高校陸上競技大会(駒沢)兼インターハイ予選
100m 高橋優作 決4位
" 竹澤陸 準6位
800m 武士文哉 予8位
110mH 猿谷亮 決3位
3000mSC 金子哲佳 決10位
5000mSC 矢野泰生 決9位
4x100mR 上村、高橋、竹澤、安達 決6位
やり投 金光雄紀 決12位
全国高校総体(岡山)
100m 高橋優作 準6位
110mH 猿谷亮 準8位
4x100mR 上村、高橋、竹澤、吉井 予6位
国民体育大会(岩手)
100m 高橋優作 準4位
4x100mR 高橋優作(群馬チーム3走)
学校対抗
100m 高橋優作 決1位
400m 吉井終人 決6位

800m	武士文哉	決2位
1500m	武士文哉	決5位
やり投	金光雄紀	決1位
4×100mR	上村、高橋、竹澤、吉井	決3位
4×400mR	高橋、吉井、上村、竹澤	決3位
県高校新人大会		
400m	吉井終人	決4位
800m	西巻仁貴	決5位
〃	藤本 巧	決7位
4×400mR	田巻、吉井、今井、上村	決3位
関東高校選抜新人大会(熊谷)		
400m	吉井終人	予6位
4×400mR	植木、吉井、今井、上村	予4位
県高校駅伝	総合成績	8位
県新人駅伝	総合成績	8位

サッカー部		
インターハイ予選		
4回戦	2-0 太 田	
準々決	0-3 常 磐	ベスト 8
高校サッカー選手権大会県予選		
4回戦	2-1 伊 工	
準々決	1-4 前 商	ベスト 8
新人大会		
2回戦	3-0 渋 川	
3回戦	1-0 伊 工	
準々決	0-1 前 商	ベスト 8

卓球部		
インターハイ予選		
団体	2回戦 0-3 高 商	
強化大会		
有留		ベスト64
全日本選手権予選(ジュニア)		
原澤・高山		ベスト64
新人大会		
団体	1回戦 3-0 ろ う	
	2回戦 1-3 前 橋	

バドミントン部		
インターハイ予選		
団体	2回戦 2-3 桐 南	
新人大会		
団体	2回戦 3-0 青 翠	
	3回戦 0-3 桐 商	ベスト16
個人	ダブルス 金井・日比野ペア	ベスト16

バスケットボール部		
インターハイ予選		
3回戦	120-86 樹 徳	
準々決	80-63 高 商	
準決勝	84-82 育 英	
決 勝	100-83 太 東	優 勝
インターハイ		
1回戦	60-83 大分舞鶴	
国体関東ブロック大会(野本大智、坂東俊紀参加)		
1回戦	103- 67 山梨	
準決勝	78-114 茨城	第3位
全国高等学校バスケットボール選抜大会群馬県予選会		
準々決	65-81 新 島	
西毛地区新人大会		
準決勝	102-60 健大高	
決 勝	89-82 新 島	優 勝
新人大会		
4回戦	86-78 勢 農	

ブロック決勝	64-63 桐 一	
決勝リーグ	68-74 新 島	
	48-73 育 英	
	91-68 高 商	第3位

テニス部		
インターハイ予選		
団体		ベスト16
シングルス	谷屋、赤池	ベスト64
ダブルス	谷屋・長壁、山岸・小屋	ベスト32
新人大会		
団体	2回戦 5-0 伊 工	
	3回戦 2-3 前 東	ベスト16
シングルス	赤池、山岸	ベスト32
	大崎	ベスト64
ダブルス	赤池・山岸	ベスト16

スキー・スケート部		
県ショートトラックスピード競技会		
高校生500m,1000m,1500m	丸山凜太郎	第1位
関東高等学校スキー大会		
	小林 悠 (SL/GS出場)	
高校総体スケート競技		
500m,1500m	丸山凜太郎	第2位
学校対抗		第2位
ショートトラック国体		
500m	丸山凜太郎	第2位
1500m	丸山凜太郎	第4位

弓道部		
関東大会		
	団体予選不通過	
インターハイ予選		
団体		第3位
新人大会		
高崎B	24射13中、24射12中	第7位
東日本大会県予選会		
高崎B	トーナメント	第3位
東日本大会		
高崎(5人制)	20射14中	予選通過
	20射12中トーナメント1回戦敗退	
高崎(3人制)	12射2中	予選不通過
春季県大会		
高崎A・高崎B		予選不通過

第52回高校総体 (平成29年) 男子総合6位

バレーボール部		
3回戦	1-2 伊 商	ベスト16

ソフトテニス部		
団体	2回戦 2-1 吉 井	
	3回戦 2-1 高 工	
準々決	2-1 利根商	
決勝リーグ	3-0 館 林	
	0-3 高 商	
	2-1 健大高	準優勝

バドミントン部		
団体	1回戦 2-0 市前橋	
	2回戦 2-1 太 東	
	3回戦 0-2 太 工	
関東出場権決定戦	1-2 中央中等	ベスト 8

サッカー部		
4回戦	4-0 西邑楽	
準々決	1-3 前 橋	ベスト 8

バスケットボール部		
1回戦	117-23 安総合	
2回戦	97-47 青 翠	
3回戦	64-65 太 田	ベスト16

山岳部		
		途中棄権

空手道部		
団体組手	1回戦 0-3 前 橋	

剣道部		
団体	2回戦 4-0 前 南	
	3回戦 1-3 青 翠	ベスト16

弓道部		
団体(鈴木、村岡、高岡、大森)	48射27中	第13位

テニス部		
団体	2回戦 3-0 桐 商	
	3回戦 1-2 育 英	ベスト16

軟式野球部		
1回戦	2-3× 育英	
	(延長14回タイブレーク)	

陸上競技部		
4×400mR	吉井、今井、植木、田巻	6位
走高跳	大平海史	3位
八種競技	今井 樹	4位
	(以上、関東大会出場権獲得)	
男子総合成績		17位

卓球部		
団体	1回戦 3-0 館商工	
	2回戦 3-2 勢 農	
	3回戦 0-3 桐 生	ベスト16

ラグビー部		
1回戦	31- 7 樹 徳	
準々決	34-43 農 二	ベスト 8

柔道部		
(柔道競技) 団体	2回戦 2-0 沼 田	
	3回戦 1-3 育 英	
敗復1回戦	4-0 太 田	
敗復2回戦	3-0 勢 農	
5・6位決戦	0-3 高 商	第6位
	(関東大会出場)	

(相撲競技) 団体決勝リーグ	4-1 沼 田	
	1-4 樹 徳	
	4-1 太 工	
	4-1 青 翠	準優勝
	(関東大会出場)	

個人	軽量級 和田智輝、佐谷戸恒太	
	軽中量級 高橋 潤	
	軽重量級 小林 陸	
	無差別級 湯本祥伍、角田壮琉	
	オゾエメナ イケンナ大樹	
	野本龍也	
	8名(関東大会出場)	

「Brand New Start ~新たな前進~」
優勝目指せ!!
 高崎高校サッカー部OB会 会長 清野 哲雄(74期)

翠巒体育会役員名簿

(平成 29. 6. 20)

役職	氏名	期	運動部名
会長	大田部 功	85	ラグビー
副会長	清野 哲雄	74	サッカー
〃	田口 恵一	74	ソフトテニス
〃	榊原 一好	79	バスケットボール
〃	山岸 祐二	79	水泳
〃	清水 威	85	硬式野球
〃	北村 真行	85	テニス
〃	橋爪 洋介	85	卓球
〃	滝野 修司	86	剣道
〃	甲斐 俊輔	87	陸上競技
〃	井野 周平	91	ラグビー
〃	吉井 章一	78	山岳
〃	志田 登	82	柔道
〃	櫻井 健一	87	応援
〃	坂本 弘	87	バレーボール
〃	横田 裕正	92	スキー・スケート
〃	秋山 賢治	74	応援
〃	清水 正郎	75	硬式野球
〃	國峯善次郎	50	サッカー
〃	岩田 武雄	53	バスケットボール
〃	山口 正敏	58	卓球
〃	高橋 浩生	78	バレーボール
〃	堤 康高	71	卓球
〃	清水 元	91	硬式野球
〃	原 到	78	バレーボール
〃	高橋 孝史	97	〃
〃	塚越 英男	91	剣道

役職	氏名	期	運動部名
理事	萩原 克明	93	剣道
〃	庭田登志男	68	柔道
〃	鳥居 吉二	73	〃
〃	永井 正樹	80	陸上競技
〃	中村 信勝	81	〃
〃	石橋 修	90	〃
〃	今村 孝之	80	ラグビー
〃	黒石 康暢	81	〃
〃	表野 真弘	83	〃
〃	大塚 淳二	91	〃
〃	永尾 俊弘	70	水泳
〃	斉藤 全賢	75	〃
〃	伊藤 祐司	75	〃
〃	須藤 聡	78	〃
〃	羽鳥 広平	104	卓球
〃	高橋 秀仁	107	〃
〃	木村 芳之	72	ソフトテニス
〃	石田 和久	75	〃
〃	浦野 克彦	78	〃
〃	富田 和弘	85	応援
〃	佐藤 英樹	92	〃
〃	武藤 康秀	106	〃
〃	國峯 賢一	74	サッカー
〃	安藤 英彦	86	〃
〃	佐藤 雄一	97	〃
〃	小林 均	77	硬式野球
〃	堀込 貴	84	〃

役職	氏名	期	運動部名
理事	田中 正宏	79	バスケットボール
〃	仲澤 賢一	86	〃
〃	小澤 朋克	99	〃
〃	松本 基志	77	山岳
〃	須川 光一	79	〃
〃	齋藤 英敏	83	テニス
〃	長谷川 泰三	83	〃
〃	松本 潔志	85	〃
〃	神保 裕之	83	スキー・スケート
〃	佐藤 雄一	86	〃
〃	沼野 藤雅	89	〃
〃	赤澤 正喜	84	硬式野球
〃	北村 真行	85	テニス
〃	根岸 強	87	サッカー
〃	茂原 賢三	89	陸上競技
〃	伊藤 俊一郎	92	柔道
〃	武山 雄海	102	バレーボール
〃	新藤 洋一	81	水泳
〃	藤井 正弘	81	応援
〃	芳賀 弘幸	81	ラグビー
〃	木村 晴彦	87	ソフトテニス
〃	寺澤 佑介	95	スキー・スケート
〃	角岡 大悟	96	剣道
〃	塚本 浩史	99	バスケットボール
〃	宮原 丈太郎	111	卓球
〃	境原 尚樹	81	硬式野球
〃	柴山 俊広	103	バレーボール

学校側顧問			
校	長	加藤 聡	
副校	長	丸山 正	
教頭		関口 博士	
運動部長		新井 康司	
硬式野球	境原 尚樹	關根 秀仁	大隅 昭彦
ラグビー	森田 達哉	川田 智広	皿山 倫義
サッカー	吉田 卓弥	須田 響二	飯出 得男
陸上競技	新井 康司	萩原 克明	工藤 洋平
水泳	山田 敏行	岡田 準	川田 智広
山岳	井上 貴智	滝沢 憲一	國富 充敏
応援	伊藤 信一	須藤 毅	岡田 一郎
ソフトテニス	阿部 一輝	田中 みゆき	森戸 麻子
テニス	岡田 準	吉澤 正明	中川 浩之
スキー・スケート	井上 貴志	塚越 正隆	
バスケットボール	渡部 健一郎	須藤 毅	
バレーボール	柴山 俊広	林 孝彦	大久保 泰希
卓球	長谷川 忠史	江原 悠一	小久保 博志
剣道	國富 充敏	竹内 聡	
柔道	田中 利明	栗原 俊夫	
弓道	東宮 英文	森戸 麻子	
空手道	遠山 聡	池永 真孝	
軟式野球	田島 悦男	沼野 隆	中嶋 英彦
バドミントン	星野 貴紀	市川 高幸	

OB会長名簿

OB会名	会長氏名	期
ソフトテニス部OB会	丸山 博	68
剣道部OB会	藤木 正行	69
水泳部OB会	永尾 俊弘	70
柔道部OB会	鳥居 吉二	73
サッカー部OB会	清野 哲雄	74
硬式野球部OB会	清水 正郎	75
陸上競技部OB会	波多野重雄	77
山岳部OB会	松本 基志	77
バレーボール部OB会	原 到	78
バスケットボール部OB会	榊原 一好	79
テニス部OB会	小池 俊明	80
ラグビー部OB会	黒石 康暢	81
スキー・スケート部OB会	神保 裕之	83
応援部OB会	富田 和弘	85
卓球部OB会	橋爪 洋介	85

◎ [茂原・陸上競技部・89期]
 『翠巒体育』も本稿で第36号になります。同窓会HPには1975年の創刊号をはじめ、これまで刊行された全36号分がPDF形式で閲覧できますので、この機会にぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。懐かしい名前を見つけ、セピア色(?)の写真を眺め、昔の記事を読んで当時のことに思いを巡らせていると、会報の刊行を続けてこられた諸先輩方には改めて敬意を表さ

ずにはられません。高崎高校も今年で120周年を迎えましたが、翠巒体育会が、これまでの母校の発展に寄与してきたことは間違いありません(蛇足ですが、以前私は教員として高高に奉職していました。とりわけその際には翠巒体育会の存在の大きさを実感しました)。今後も皆様と共に会報刊行の継続はもちろん、あわせて翠巒体育会の益々の活性化に取り組んで行けたら幸いです。“高崎我らが母校、伝統よ更に栄えあれ”。

編集後記